



日本共産党区議会議員
みやざき かつとし
克俊

事務所 品川区豊町6-2-1 TEL3786-6674

2006年7月9日 No.537



若者の労働条件改善へ努力を

区が「ヤング就職支援セミナー」実施へ



若者の雇用は改善していると伝えられます。しかし、多くの若者がサービ
ス残業が当たり前であったり、不安定な非正規雇用というのが現実で
す。日本共産党は区議会第2回定例会の本会議で、中塚議員が若者の雇
用改善へ品川区としても努力するよう求めました。(ウラ面に続く)

戸越後援会が 区政報告と交流会

7月1日(土)の午後、日本共産党戸越後援会主催による区政報告会が開催されました。あいにくの雨模様でしたが17名が参加しました。

日本共産党品川区後援会の原田会長があいさつ、私(みやざき)が区政問題を中心に報告しました。参加者からは住民税の増税、品川区内での介護施設入所、教育基本法「改正」と教育勅語、区長選に対する共産党の考え方など意見や質問、また、保険でも十分な歯科治療を受けられるよう求める署名の訴えもありました。

区政報告のあと後援会が取り扱っている小豆島産そうめんを試食し交流しました。

若者の2人に1人が非正規雇用 背景に小泉内閣の労働法制の緩和が

「勝ち組・負け組」の格差社会、

弱肉強食の社会のなかで、若年層の雇用の破壊は深刻です。若者の二人にひとりとは非正規雇用といわれ、週に一度の休日も保障されない過酷な労働が不安定な非常勤雇用か…の中で苦しめ

られています。

今年5月、厚生労働省は昨年度の労働局に寄せられた労働相談が17万6千件を超え、過去最多に上ったと発表しました。

そのなかで最も多いのが「解雇」。派遣労働者や契約社員からの相談も急増、相談はこの4年間で2倍に増えたといっています。

こうした背景に、小泉「構造

品川区は昨年度から若年対象の「パソコン教室」、「合同就職面接会」など実施。今年も6月から中小企業センターでヤングキャリアナビゲーション、若年労働者相談をスタートしました。これは厚生労働省の事業として実施されたもので、日本共産党が求めてきました。



共産党がポケット労働法普及、雇用実態調査など要望。雇用改善にがんばります

いま、多くの若者が労働基準法など労働者の基本的権利や雇用主の責任について何も知らされず「泣き寝入り」しているのが実態です。そこで、日本共産党は品川区としてできる対策として、①「ポケット労働法」の普及、

②区内若年層の雇用実態調査、③合同就職面接会の充実などを求めました。高橋区長は答弁で、今後、団塊の世代の大量退職が見込まれ、若年労働者にとって雇用情勢は改善されると期待していると、

①ヤングキャリアナビゲーション、若年労働者相談をピーアールする、②合同就職面接会はハローワークと連携し「ヤング就職支援セミナー」を実施する、③今後も雇用主向けセミナーを実施する」と述べました。

都営・区営住宅

入居者募集のお知らせ

- 募集内容：①東品川都営住宅(地元割当、家族向)2戸、②区営住宅(あき家)の入居登録者
 - 申込期間：7月10日(月)必着
 - 申込書は、区役所住宅課および各地域センターなどにあります。
- ※次回は8月に都営住宅の募集があります。

無料

7月21日(金) Pm 6:30

法律相談は

みやざき克俊事務所

